

思川清掃

6月24日(土)、石の上橋周辺の河川敷で「河川清掃」を実施しました。参加者は一般の方1名が欠席されたため会員のみ11名でした。昨年同様に橋脚廻りにバーベキューのゴミが多くあり、1時間半位の作業の結果、可燃ごみが17袋、不燃ごみが6袋集まりました。注意喚起のポスターが貼ってあるにも関わらずBBQの方々等のマナーが改善されないのは残念でなりません。暑くて大変でしたが無事終了し、ゴミをバックに記念撮影し解散しました。(渡辺)



鮎祭り

8月5日(土)、「めだかの学校」の方々の協力も得て、朝捕獲した魚と水槽を運び、観覧橋の下に「思川水族館」・「魚との触れ合いコーナー」を設置しました。9時半からは「魚の名前当てクイズ」も実施しました。12名の当会会員は、魚の説明、クイズの勧誘や受付、また鮎祭り実行委員会からの依頼で、鮎の捕まえ方や串刺しの指導等も行いました。200名分用意したクイズの問題用紙や景品は2時間程で無くなりました。毎回大人気の当会のイベントですが、来訪者の中には川魚の博士ちゃんのような小学生もいて驚きました。多くの市民に「鮎」から興味を広げて「思川」に思いをはせるようになって欲しいと思いました。(伊藤)



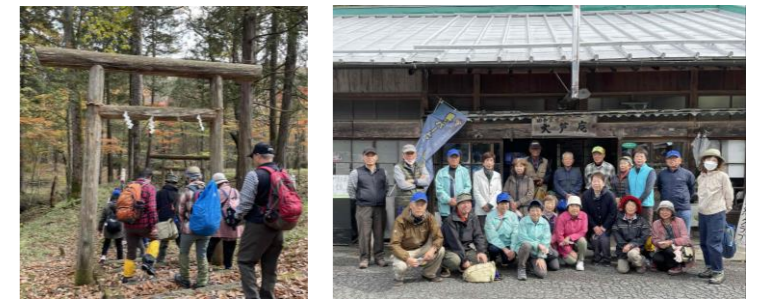
親子釣り体験

10月7日(土)、観覧橋のたもとの河川敷で「親子釣り体験」を実施しました。当日は一般参加者が8組(22名)、サポート側の会員等が11名参加。会員が8時に集合し会場を設営。9時から集まった参加者に対し、釣り方の説明や指導員の紹介等を行い、釣り開始。水況も平水に戻り、透明度も回復、水温も下がり、絶好のコンディションとなる。初めての子どもも多く、竿の扱いに苦戦していたが、慣れに従い次々と釣れて歓声が上がった。時間が経つにつれ、流石にアタリも遠のいてきたので11時には納竿。竿頭は12匹、次が10匹、そして全員釣れて、皆さん大変満足された様子。昨年は中止となっただけに、主催者側の我々も安堵しました。(渡辺)



思川の源流を訪ねる会

10月29日(日)、20名(会員9名、一般参加11名)で思川源流の一つである大芦川上流を訪ね、古峰ヶ原高原・前日光ハイランドロッジ周辺を散策しました。今回のバス旅も見どころ満載。清流「大芦川」、古民家「大芦庵」、紅葉が見頃の「古峰ヶ原高原」、勝道上人はじめ修験者が修行をした「深山巴の宿」は空気が違ってパワースポットのような。昼食では「大芦庵特製弁当」に加えて、関谷氏のお仲間による温かい「天然なめこ汁」のおもてなし。「勝雲山駐車場」からの男体山や「前日光ハイランドロッジ」からの皇海山の眺めも楽しみ、豊かな自然や歴史にも触れることができ、思川源流地域を堪能しました。また、今回は当会顧問の関谷忠一氏(大芦川自然クラブ・とちぎ自然塾代表)に散策のガイドをしていただきましたが、自然に対する愛・知識・経験が豊富で、お話し面白く楽しい散策のひと時でした。諸物価高騰の折、価値ある4,000円の日帰りバス旅でした。(伊藤)



「おやまサマーフェスティバル2023」グリーン作戦

7月31日(月)、市の要請を受け、当会からは会員8名が参加。御殿山広場に6時に集合。市長挨拶、担当部署からの説明後、ゴミ袋や軍手等をもらい受け、市役所通りの足利銀行から4号線信号迄の北側歩道のごみ拾いをしました。



10月25日(水)
9:30~11:00

小学4年生約30名を対象に講座を実施。毎年定期的に行っており、今回も高瀬会長が早朝

に採捕した6種類の魚を水槽と発泡スチロールに入れて展示し、パワーポイントを使用して思川流域の魚等の環境状況説明をした。その後、展示した魚に触れる事にすると、歓声を上げて興奮状態となった。外来種による環境の変化や、自然に対する関心の高さを感じ、先生方からも講座の継続の要請があった。(大貫)



11月2日(木) 10:00~11:30

小学校の要請により、5年生の約60名を対象に出前講座を実施。高瀬会長が自ら作成したパワーポイントをもって、思川流域に生息する魚類や昆虫類等の特徴や生息環境等を説明。外来種による環境の変化や、ごみなどによる

環境汚染の現状も併せて説明。その後、会長が捕捉展示したオイカワ、ホンモロコ、タカメ、ヤゴ、川エビ等を見て関心を深めた。その後質疑応答の時間を設けたが、活発な質問が数多くあり、大いに盛り上がりを見せた。川遊びや野外活動が制限される中、自然を感じる貴重な時間であったと、先生方からも感謝の言葉があった。(大貫)



11月30日(木) 10:00~12:00

今回、小学校より、環境問題を考える授業の一環として、当会に初めて出前講座の要請があり、小学5年生30名を対象に実施。会長が捕獲した大きな鯉やナマズ、フナ、ヤゴ等を水槽で展示し、会長がパワーポイントを使って

以下の説明を行なった。① 思川流域の概要 ② 思川に棲む魚や両生類、昆虫について ③ 絶滅危惧種について ④ 外来種による環境の変化 ⑤ 自然環境保全のお願い等。その後、展示した魚類等を観察し、質疑応答を行った。生徒たちはノートを片手に質問し高い関心を示した。先生方からも感謝の言葉と、生物が活発に動く来春に再度の講座を要請された。(大貫)

